

瀬戸市  
量の見込み算出資料

ニーズ量算出結果報告書

平成26年3月

瀬戸市



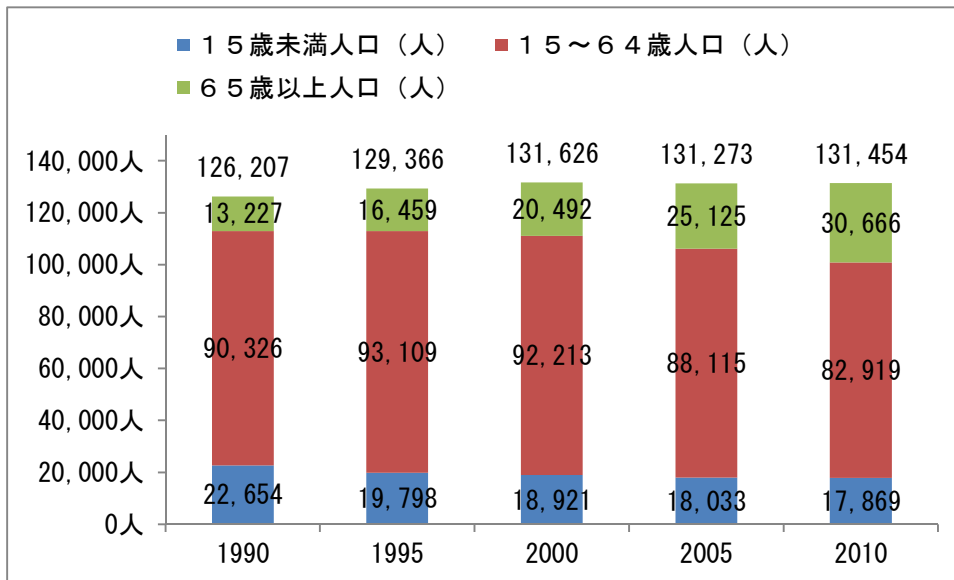


## 目次

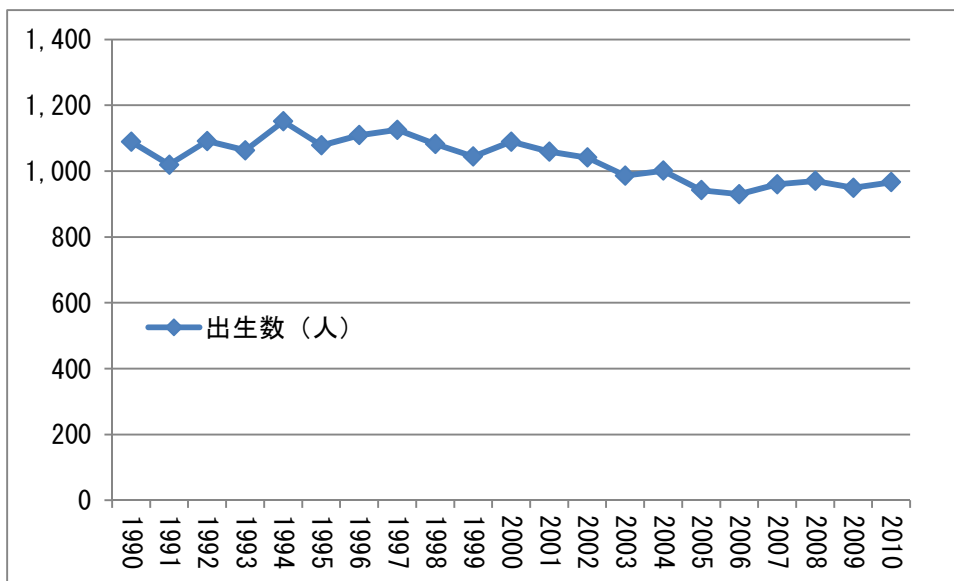
I. 瀬戸市の概況 .....	1
II. ニーズ量算出前提 .....	4
1. 人口推計 .....	4
III. ニーズ量 .....	7
1. 平日日中の教育・保育ニーズ .....	7
2. 時間外保育事業 .....	11
3. 放課後児童健全育成事業 .....	12
4. 子育て短期支援事業（ショートステイ） .....	15
5. 地域子育て支援拠点事業 .....	16
6. 一時預かり .....	18
7. 病児・病後児保育、ファミリー・サポート・センター（病児・病後児） .....	20
8. 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）（就学児対象） .....	21

# I. 瀬戸市の概況

図表 1 人口の推移（3区分）<sup>1</sup>



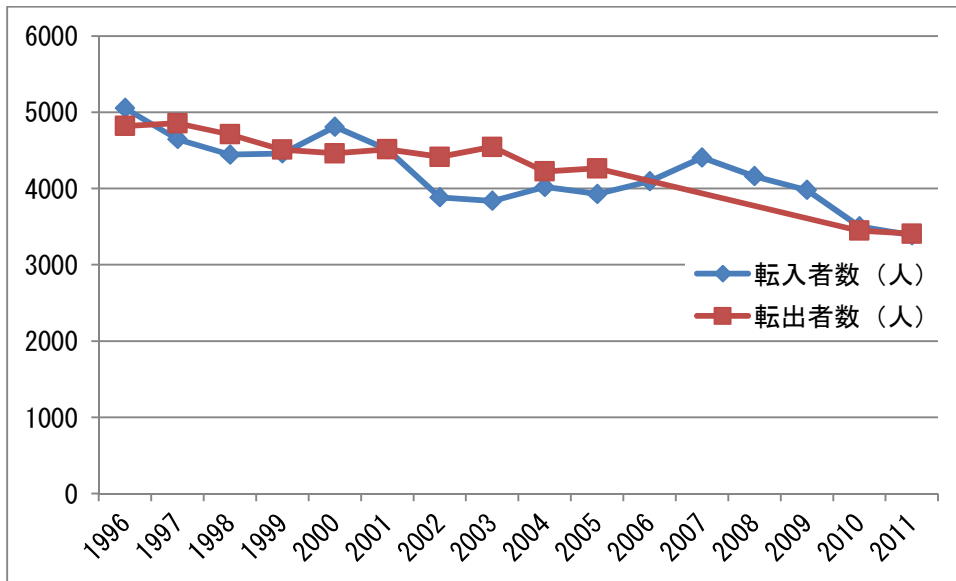
図表 2 出生数の推移<sup>2</sup>



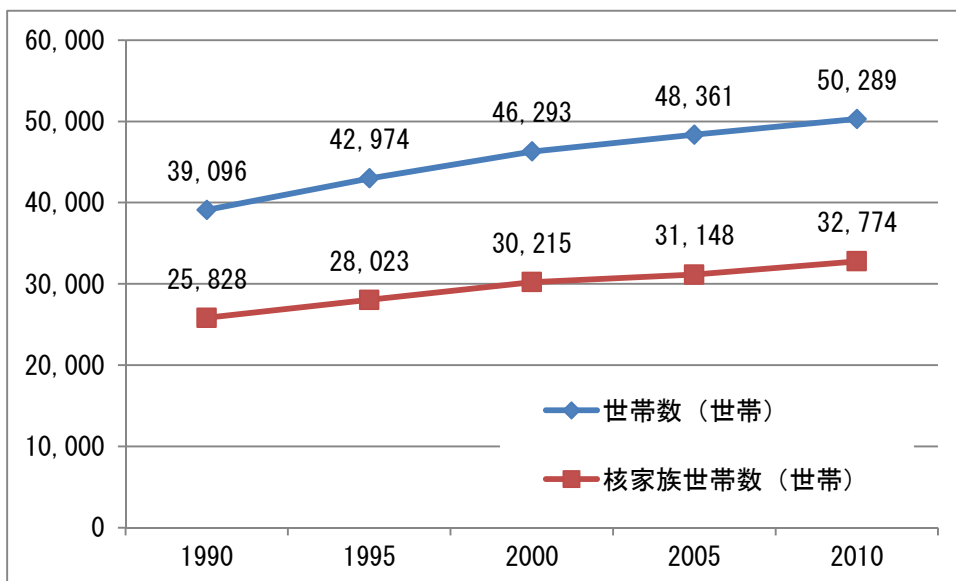
<sup>1</sup> 国勢調査

<sup>2</sup> 人口動態調査

図表 3 転入・転出数の推移<sup>1</sup>



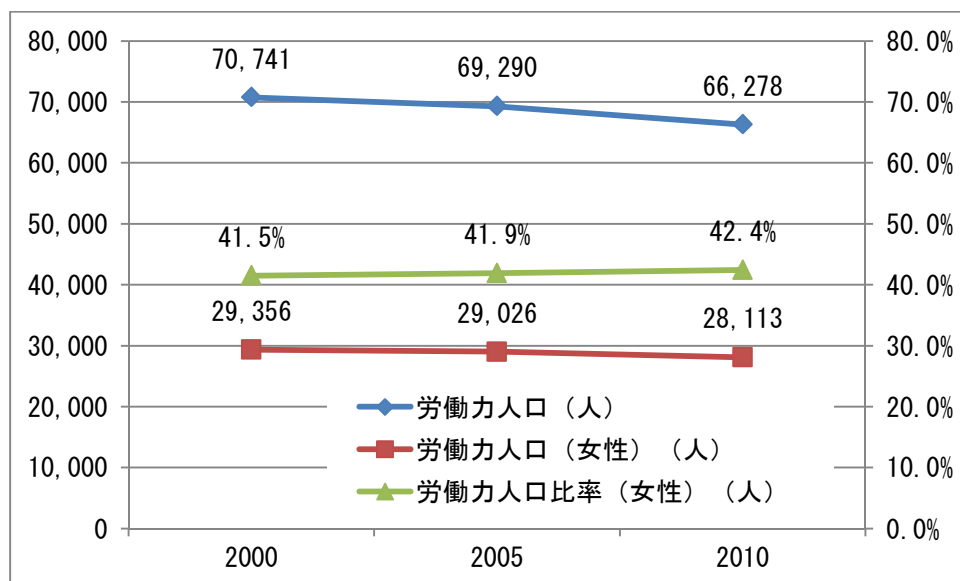
図表 4 世帯数の推移<sup>2</sup>



<sup>1</sup> 住民基本台帳人口移動報告 (2006年から2009年の転出数はデータ無し)

<sup>2</sup> 国勢調査

図表 5 労働力人口の推移<sup>1</sup>



<sup>1</sup> 国勢調査

## II. ニーズ量算出前提

### 1. 人口推計

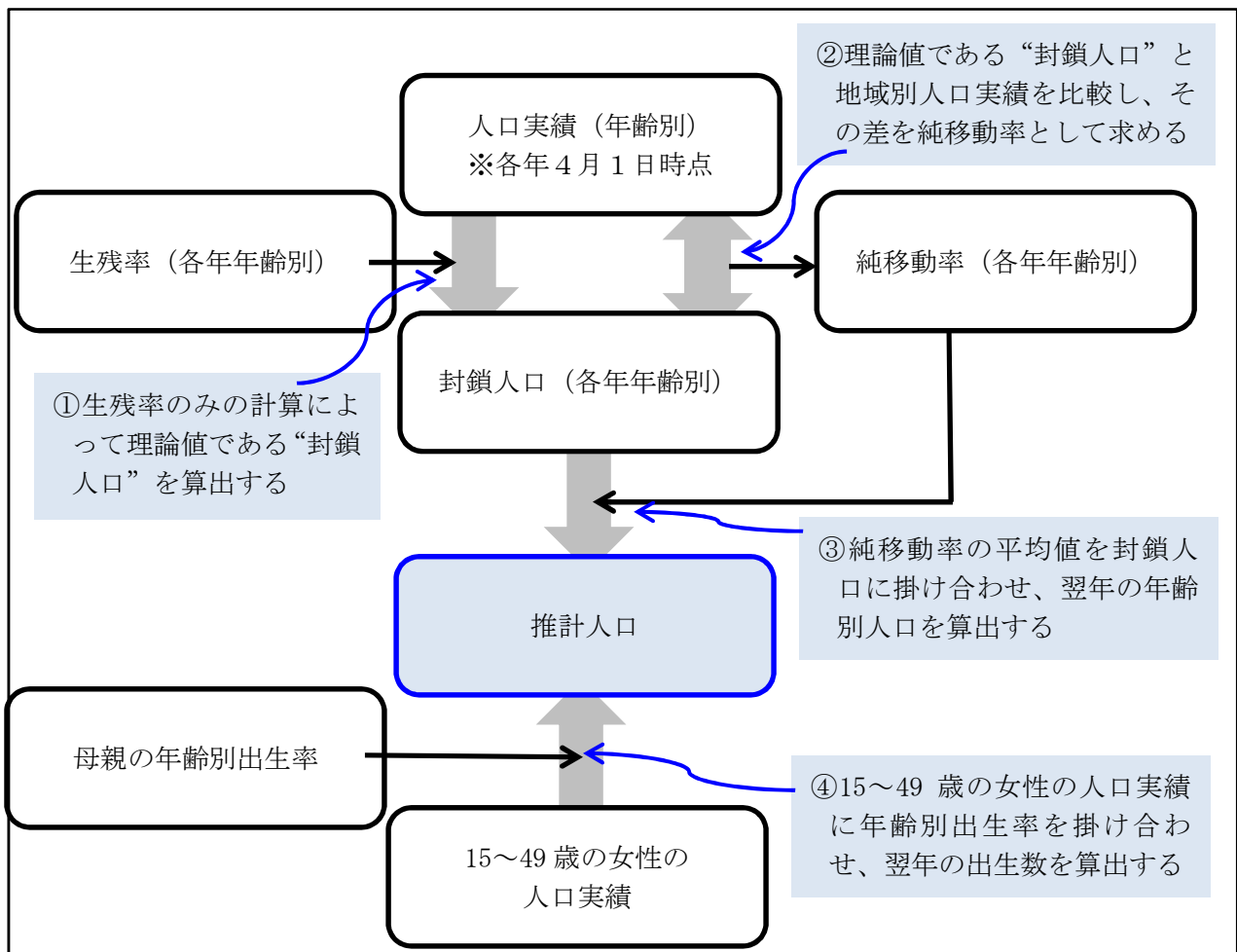
#### 1. 人口推計の手法

量の見込み算出のため、人口推計を実施する。人口推計で一般的に推奨される方法として「コーホート<sup>1</sup>変化率法」と「コーホート要因法」の2種類がある。「コーホート変化率法」は過去の各コーホートの増減を“変化率”として定め、人口に掛け合わせて推計する手法である。一方、「コーホート要因法」は“自然増（出生・死亡）”及び“社会増（転入・転出）”の将来値を仮定し、これに基づいて推計する手法である。

瀬戸市の人口推計は、今後も社会増による人口増加が見込まれる地域もあることから、より詳細な仮定データを用いて推計する「コーホート要因法」を用いて人口推計を行うこととした。

人口推計に利用する“年齢別生残率”、“母親の年齢別出生率”は、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」における仮定値を用いることとした。

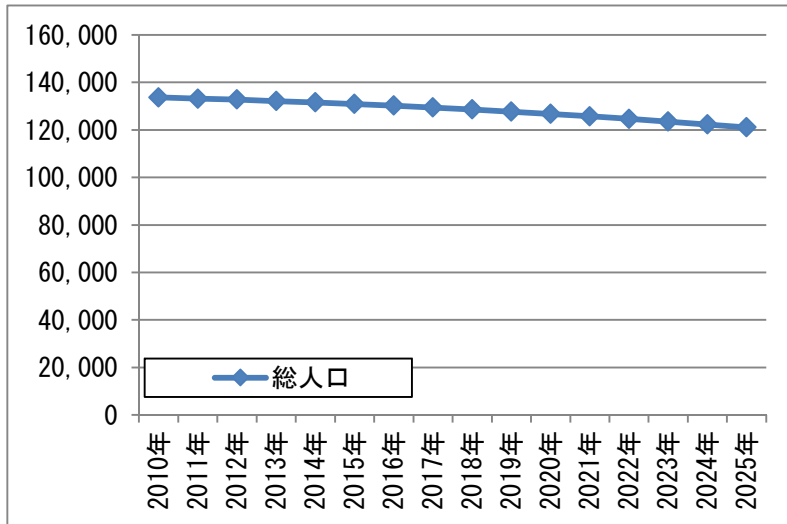
図表 6 人口推計の手順



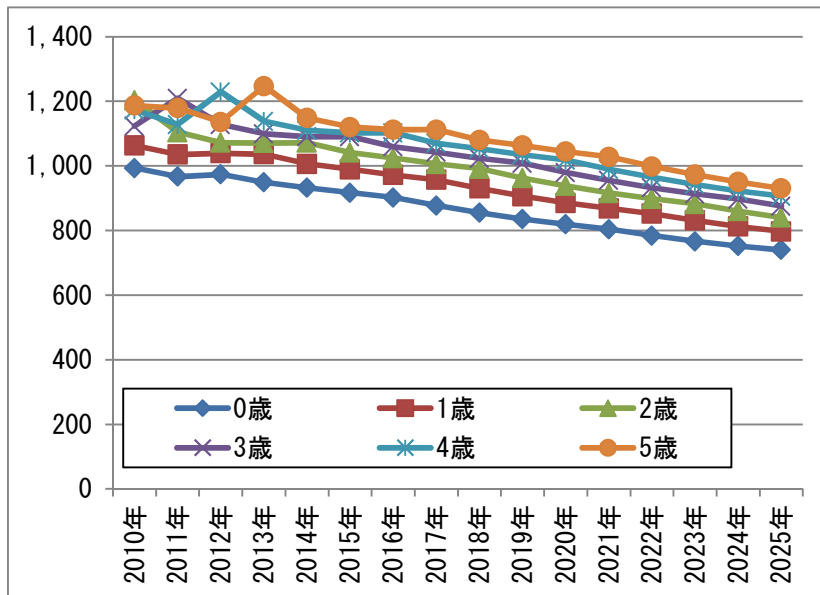
<sup>1</sup> コーホート：同じ年に生まれた人々の集団



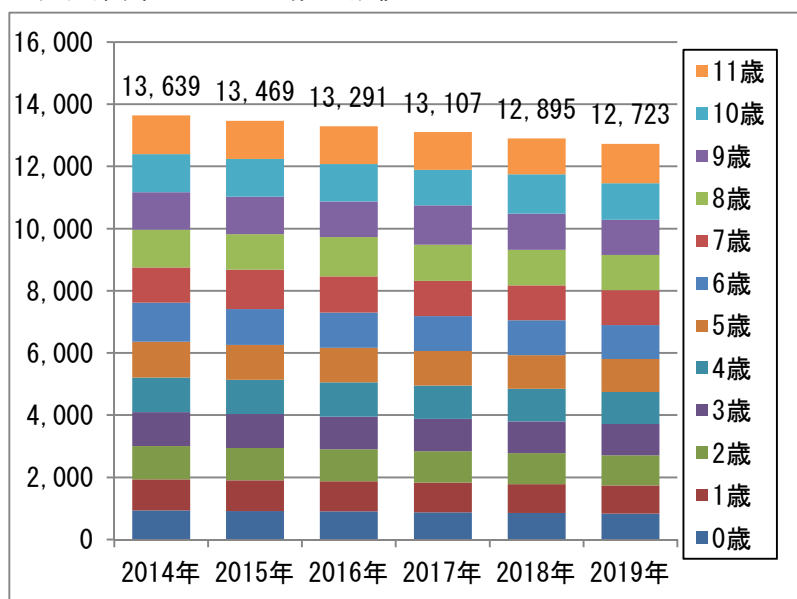
図表 7 総人口の推移



図表 8 就学前児童の人口推移



図表 9 計画期間内の子ども数の推移



図表 10 人口データ一覧<sup>1</sup>

(人)	実績					推計				
	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
0歳	993	967	974	949	932	917	902	877	855	835
1歳	1,063	1,035	1,039	1,036	1,006	989	972	957	930	906
2歳	1,203	1,104	1,072	1,071	1,072	1,041	1,024	1,006	991	962
3歳	1,123	1,209	1,128	1,099	1,090	1,090	1,059	1,042	1,023	1,008
4歳	1,173	1,128	1,229	1,138	1,110	1,102	1,102	1,070	1,053	1,034
5歳	1,187	1,179	1,136	1,247	1,148	1,120	1,112	1,112	1,080	1,063
6歳	1,226	1,200	1,194	1,137	1,257	1,157	1,129	1,121	1,121	1,089
7歳	1,239	1,220	1,204	1,200	1,138	1,258	1,158	1,130	1,122	1,122
8歳	1,274	1,246	1,230	1,206	1,207	1,144	1,265	1,164	1,136	1,128
9歳	1,242	1,285	1,245	1,230	1,209	1,210	1,147	1,268	1,167	1,139
10歳	1,315	1,241	1,291	1,237	1,229	1,208	1,209	1,146	1,267	1,166
11歳	1,305	1,327	1,245	1,290	1,241	1,233	1,212	1,214	1,150	1,271
<b>11歳未満 合計</b>	<b>14,343</b>	<b>14,141</b>	<b>13,987</b>	<b>13,840</b>	<b>13,639</b>	<b>13,469</b>	<b>13,291</b>	<b>13,107</b>	<b>12,895</b>	<b>12,723</b>

<sup>1</sup> 各年4月1日時点

### Ⅲ. ニーズ量

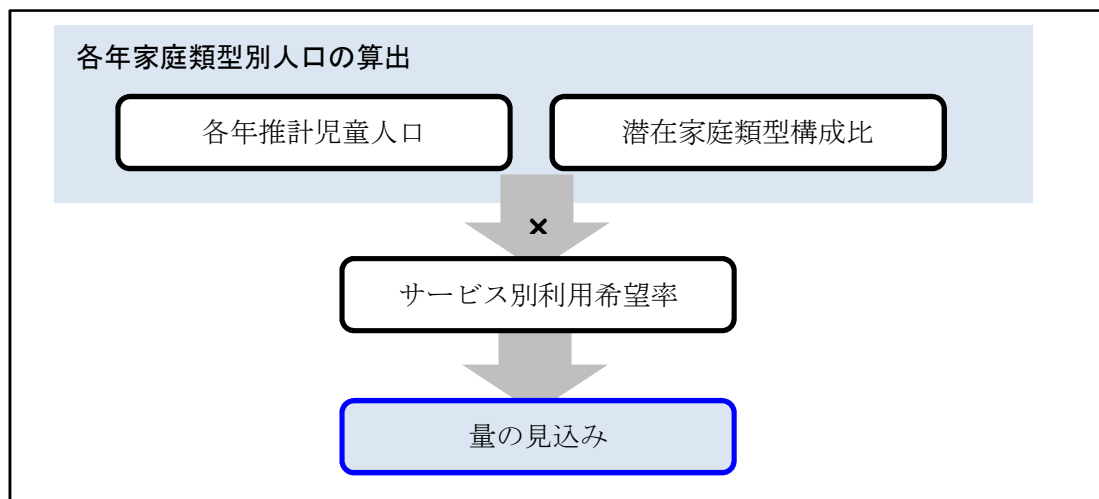
#### 1. 量の見込みの算出方法（概要）

平成26年1月に国が示した基本指針（市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引き）及びワークシートを基に、事業計画で定める教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みを設定することが基本となる。量の見込み算出には、「平成25年度に実施したニーズ調査結果」および「計画期間内の推計児童人口」のデータが必ず必要となる。

量の見込み算出の基本的な手順は以下（図表11）に示すとおりであるが、詳細な集計方針は内閣府HP<sup>1</sup>の子ども・子育て支援制度に係る自治体向け情報を参照されたい。

なお、国が示した指針及びワークシートは基本的な考え方と手順を示したものであり、これに従うことを義務とするものではない。従って、市町村においては、指針及びワークシートの結果を絶対の見込み量として捉えることなく、実情に応じて解釈・検討を加えて見込み量を決定することが求められる。

図表 11 量の見込み算出の基本手順概要



<sup>1</sup> 内閣府：<http://www.cao.go.jp/>

## 2. 平日日中の教育・保育ニーズ

### 区域設定

瀬戸市全域

### 保育園の利用状況（各年3月1日現在）

	(単位)	平成 21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
0歳	人	107	107	109	110	125
1歳	人	191	186	198	205	226
2歳	人	224	280	266	287	285
0～2歳合計	人	522	573	573	602	636
3歳	人	463	423	510	467	460
4歳	人	460	490	445	523	481
5歳	人	486	477	497	449	540
3～5歳合計	人	1,409	1,390	1,452	1,439	1,481
0～5歳合計	人	1,931	1,963	2,025	2,041	2,117
保育所数	箇所	23	23	23	23	24
定員数	人	1,900	1,900	1,940	1,940	1,940

### 幼稚園の利用状況（各年5月1日現在）

	(単位)	平成 21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
3歳	人	558	625	641	594	584
4歳	人	651	629	627	669	617
5歳	人	652	671	632	637	667
計	人	1,861	1,925	1,900	1,900	1,868
園数	箇所	7	7	7	7	7

### 待機児童の推移（各年4月1日現在）

	(単位)	平成 21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
3歳未満	人	15	16	14	7	7
3歳以上	人	0	1	0	0	0

## 量の見込み

### 【類型区分】

- ①<3号認定>（認定こども園及び保育所＋地域型保育）  
⇒両親がフルタイム就労等により、保育所等の利用意向が強い（対象：0歳児）
- ②<3号認定>（認定こども園及び保育所＋地域型保育）  
⇒両親がフルタイム就労等により、保育所等の利用意向が強い（対象：1・2歳児）
- ③<1号認定>（認定こども園及び幼稚園）  
⇒両親が短時間就労または専業主婦（夫）等により、幼稚園等の利用意向が強い（対象：3歳児～）
- ④<2号認定>（幼稚園）  
⇒両親がフルタイム就労等であるが、幼稚園等の利用意向が強い（対象：3歳児～）
- ⑤<2号認定>（認定こども園及び保育所）  
⇒両親がフルタイム就労等により、保育所等の利用意向が強い（対象：3歳児～）

		平成				
(単位:人/日)		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
0歳	①<3号認定>（認定こども園及び保育所＋地域型保育）	358	353	343	334	326
1・2歳	②<3号認定>（認定こども園及び保育所＋地域型保育）	803	790	777	760	739
0～2歳	①＋②合計	1,161	1,143	1,120	1,094	1,065
3歳～	③<1号認定>（認定こども園及び幼稚園）	1,576	1,557	1,534	1,501	1,477
	④<2号認定>（幼稚園）	316	312	307	301	296
	③＋④合計(⑥)	1,892	1,869	1,841	1,802	1,773
	⑤<2号認定>（認定こども園及び保育所）	1,113	1,100	1,083	1,061	1,043
3歳～	⑥＋⑤合計	3,005	2,969	2,924	2,863	2,816

## 補正数値と考え方

(単位:人/日)		平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
0歳	①<3号認定>(認定こども園及び保育所+地域型保育)	151	149	145	141	138
1・2歳	②<3号認定>(認定こども園及び保育所+地域型保育)	551	542	533	521	507
0～2歳	①+②合計	702	691	678	662	645
3歳～	③<1号認定>(認定こども園及び幼稚園)	1,737	1,716	1,691	1,654	1,629
	④<2号認定>(幼稚園)	348	344	339	332	326
	③+④合計(⑥)	2,085	2,060	2,030	1,986	1,955
	⑤<2号認定>(認定こども園及び保育所)	1,227	1,213	1,194	1,170	1,150
3歳～	⑥+⑤合計	3,312	3,273	3,224	3,156	3,105

- 0歳児のニーズについて、アンケート項目に「いつから保育園等を利用したいか」を問う設問がないため、「現在0歳児のお子さんがある保護者」の希望がすべて0歳児の保育ニーズとして反映される。そこで、子どもが出生時に働いていなかった保護者は子どもが0歳のうちに再就職するケースは少ないと想定し、アンケート調査で把握した「出生時に働いていなかった0歳児の子どもをもつ母親の割合(57.7%)」を除いた42.3%を0歳児のニーズ量と仮定した。
- 1歳・2歳児のニーズも、0歳児同様で「いつから保育園等を利用したいか」という概念がないため、過大なニーズとなる。そこでアンケート調査で把握した「子どもが1歳から2歳まで育児休業の取得を希望」している割合68.6%を1歳・2歳児のニーズ量と仮定した。
- 3歳以上については、アンケートの利用希望が実績を下回る。そのため、「すべての3歳児の子ども」が保育園または幼稚園を利用すると仮定し、量の見込みの構成比と人口推計の3歳～5歳の人数を掛け合わせた。

## 目標事業量

(単位:人/日)		平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
0歳	①<3号認定>(認定こども園及び保育所+地域型保育)					
1・2歳	②<3号認定>(認定こども園及び保育所+地域型保育)					
3歳～	③<1号認定>(認定こども園及び幼稚園)					
	④<2号認定>(幼稚園)					
	⑤<2号認定>(認定こども園及び保育所)					

### 3. 時間外保育事業

#### 区域設定

瀬戸市全域

#### 利用実績

	(単位)	平成 21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
16時から18時	人/日	804	810	866	901	914
18時以降	人/日	463	466	486	533	557
時間外保育事業 合計	人/日	1,207	1,273	1,355	1,434	1,471

#### 量の見込み(※国の算出方法では18時以降の利用希望のみ)

	(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
時間外保育事業	人/日	442	435	428	419	410

#### 補正数値と考え方(※国の算出方法によらず、16時以降の利用見込みを加味する)

	(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
時間外保育事業	人/日	1,471	1,471	1,471	1,471	1,471

- アンケートから算出した量の見込みは、18時以降の利用ニーズのみのため、実態を大きく下回る。従って、16時以降の利用見込みを加味し、過去5年間の最大利用実績をニーズとして仮定する。

#### 目標事業量

	(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
時間外保育事業	人/日					

## 4. 放課後児童健全育成事業

### 区域設定

中学校区

### 利用実績

	(単位)	平成 20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
放課後児童クラブ	登録人数	649	638	651	765	761
学童クラブ	箇所	12	12	11	11	11
モアスクール	箇所	3	4	5	6	7

### 量の見込み

放課後児童クラブ (中学校区)		(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
低学年	市全域	人/日	1,007	1,006	969	957	944
	水無瀬	人/日	162	162	156	154	152
	祖東	人/日	30	30	29	29	28
	南山	人/日	232	232	223	220	218
	本山	人/日	48	47	46	45	44
	幡山	人/日	196	196	189	187	184
	品野	人/日	82	82	79	78	77
	光陵	人/日	71	71	68	67	66
	水野	人/日	186	186	179	177	175
高学年	市全域	人/日	609	596	605	597	597
	水無瀬	人/日	73	72	73	72	72
	祖東	人/日	10	10	10	10	10
	南山	人/日	140	137	139	138	138
	本山	人/日	31	30	30	30	30
	幡山	人/日	118	115	117	115	115
	品野	人/日	68	67	68	67	67
	光陵	人/日	56	55	56	55	55
	水野	人/日	113	110	112	110	110



## 補正数値と考え方

放課後児童クラブ (中学校区)		(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
低学年	市全域	人/日	706	705	677	671	663
	水無瀬	人/日	114	114	109	108	107
	祖東	人/日	21	21	20	20	20
	南山	人/日	163	163	156	154	153
	本山	人/日	34	33	32	32	31
	幡山	人/日	137	137	132	131	129
	品野	人/日	57	57	55	55	54
	光陵	人/日	50	50	48	47	46
	水野	人/日	130	130	125	124	123
高学年	市全域	人/日	427	418	424	419	419
	水無瀬	人/日	51	50	51	50	50
	祖東	人/日	7	7	7	7	7
	南山	人/日	98	96	97	97	97
	本山	人/日	22	21	21	21	21
	幡山	人/日	83	81	82	81	81
	品野	人/日	48	47	48	47	47
	光陵	人/日	39	39	39	39	39
	水野	人/日	79	77	79	77	77

- アンケート調査から把握した量の見込みは、まだ子どもが小学生になっていない保護者の希望から算出しているため、実績値を大きく上回る。そこで「日常的に親族にみてもらえる家庭」は利用するケースは少ないと仮定し、これらの家庭比率を除いた以下の割合を各中学校区の見込みに掛け合わせ、補正を行った。

中学校区	水無瀬	祖東	南山	本山	幡山	品野	光陵	水野
比率 <sup>1</sup>	70.1%	66.2%	75.2%	61.0%	69.4%	65.8%	69.3%	73.6%

<sup>1</sup> 「日常的に親族にみてもらえる」以外を回答した割合

目標事業量

放課後児童クラブ (中学校区)	(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
市全域	人/日					
水無瀬	人/日					
祖東	人/日					
南山	人/日					
本山	人/日					
幡山	人/日					
品野	人/日					
光陵	人/日					
水野	人/日					

## 5. 子育て短期支援事業（ショートステイ）

### 区域設定

瀬戸市全域

### 利用実績

	(単位)	平成 21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
ショートステイ	人／年	0	0	0	0	0

### 量の見込み

	(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
ショートステイ	人／年	0	0	0	0	0

### 補正数値と考え方

	(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
ショートステイ	人／年	0	0	0	0	0

- 実績、見込みともに0であるため、補正は行わない。

### 目標事業量

	(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
ショートステイ	人／年					

## 6. 地域子育て支援拠点事業

### 区域設定

中学校区

### 利用実績

	(単位)	平成 20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
地域子育て支援拠点 事業	人/月	11,408	15,080	15,444	14,654	15,254

### 量の見込み

地域子育て 支援拠点事業 (中学校区)	(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
市全域	人/月	5,141	5,050	4,950	4,841	4,715
水無瀬	人/月	806	792	778	759	739
祖東	人/月	200	196	193	187	183
南山	人/月	1,462	1,440	1,409	1,376	1,344
本山	人/月	388	372	368	364	353
幡山	人/月	836	823	805	787	766
品野	人/月	438	430	421	413	402
光陵	人/月	347	341	335	328	318
水野	人/月	664	656	641	627	610

### 補正数値と考え方

地域子育て 支援拠点事業 (中学校区)	(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
市全域	人/月	15,444	15,444	15,444	15,444	15,444
水無瀬	人/月	2,421	2,422	2,427	2,421	2,421
祖東	人/月	601	599	602	597	599
南山	人/月	4,392	4,404	4,396	4,390	4,402
本山	人/月	1,166	1,138	1,148	1,161	1,156
幡山	人/月	2,511	2,517	2,512	2,511	2,509
品野	人/月	1,316	1,315	1,314	1,318	1,317
光陵	人/月	1,042	1,043	1,045	1,046	1,042
水野	人/月	1,995	2,006	2,000	2,000	1,998

- アンケートで把握した量の見込みが実績を大きく下回るため、過去5年間の利用実績のうち最大数をニーズとして仮定し、中学校区別の構成比を掛け合わせた数値をニーズとした。

### 目標事業量

地域子育て 支援拠点事業 (中学校区)	(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
市全域	人/月					
水無瀬	人/月					
祖東	人/月					
南山	人/月					
本山	人/月					
幡山	人/月					
品野	人/月					
光陵	人/月					
水野	人/月					

## 7. 一時預かり

### 区域設定

瀬戸市全域

### 利用実績

	(単位)	平成 20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
幼稚園在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）	人／年					
上記以外の不定期利用（私的利用の一時預かり）	人／年					

### 量の見込み

	(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
幼稚園在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）	人／年	11,072	10,641	10,777	10,550	10,380
2号認定による定期的な利用（預かり保育）	人／年	79,997	79,055	77,872	76,229	74,997
上記以外の不定期利用（私的利用の一時預かり）	人／年	25,829	25,439	27,971	24,418	23,869

### 補正数値と考え方

	(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
幼稚園在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）	人／年	11,072	10,641	10,777	10,550	10,380
2号認定による定期的な利用（預かり保育）	人／年	79,997	79,055	77,872	76,229	74,997
上記以外の不定期利用（私的利用の一時預かり）	人／年	25,829	25,439	27,971	24,418	23,869

■ ※実績照会中のため、補正なし

目標事業量

	(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
幼稚園在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）	人／年					
2号認定による定期的な利用（預かり保育）	人／年					
上記以外の不定期利用（私的利用の一時預かり）	人／年					

## 8. 病児・病後児保育、ファミリー・サポート・センター（病児・病後児）

### 区域設定

瀬戸市全域

### 利用実績

	(単位)	平成 21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
病児・病後児保育	人／年	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

### 量の見込み

	(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
病児・病後児保育	人／年	8,236	8,120	7,980	7,806	7,643

### 補正数値と考え方

	(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
病児・病後児保育	人／年	733	723	710	695	680

- 病気の子どもは、保護者が看病できない場合でも親族がみるケースが多いことが想定されるため、アンケート調査から把握した「子どもをみてもらえる親族・知人がいずれもいない」家庭の割合（8.9%）を掛け合わせた数値をニーズとして仮定する。

### 目標事業量

	(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
病児・病後児保育	人／年					



## 9. 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）（就学児対象）

### 区域設定

瀬戸市全域

### 利用実績

	(単位)	平成 20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
ファミリー・サポート・センター(生後3か月～小学校6年生))	活動 件数	1,008	1,259	1,786	1,301	1,087

### 量の見込み

	(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
ファミリー・サポート・センター(就学児のみ) (上段:低学年、下段:高学年)	人/年	166	211	214	212	211
		216	376	374	369	367

### 補正数値と考え方

	(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
ファミリー・サポート・センター	人/年	1,786	1,786	1,786	1,786	1,786

- 国の方針では就学児のみのニーズを算出するため、実績を大きく下回る。そのため、就学児・未就学児問わず、過去の実績の最大数のニーズとして仮定する。

### 量の見込み

	(単位)	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
ファミリー・サポート・センター (上段:低学年、下段:高学年)	人/年					